

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が主体的に学校運営に参画することで信頼と協働を大切にする「チーム原」を具現化していきます。 ・全教職員が共通指導方針をもつことで児童理解体制を充実させ、子どもの心に寄りそった指導に努めます。 ・子どもの自己有用感・自尊感情を育むことで判断力や行動力、自己表現力を育てます。 ・学力の実態をふまえた具体的な手立てに則った指導に努め、学力の向上を図ります。 ・学校・家庭・地域・関係機関が連携して、子どもの健全育成に努めます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	①子どもが自分との関わりで道徳的価値を考えられる道徳の授業の研究を進めていく。 指針1「道徳・各教科の時間」の充実 ②ペア学年活動など、異年齢集団活動を充実させ、多くの友達とかかわり合いながら、主体的、意欲的に活動することができるようにする。 指針2「体験活動の充実」
担当	道徳・特活部

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は明るく素直で、ほめられるとよく頑張ることができる。そして、あいさつや相手のことを考えて行動できるようになってきている。その一方、自分に自信がなく、自己肯定感が低い児童が少なくない。そのため、自信をもって自分の思いや考えを相手に伝えることが十分にできていない。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・子どもたちが、自分との関わりで道徳的価値を考えられる道徳の授業の方法や教材の効果的な活用方法等について、学年研などで話し合ったり、教材を作ったりする。
- ・図工の鑑賞や音楽の月の歌等、子どもが自分の思いを生き生きと表現し、互いのよさを認め合える活動を意図的、計画的に行い、豊かな情操を養う。（校内図工展での感想交流、月の歌の全校斉唱等）
- ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・大人の率先垂範で、あいさつを進んでするようにしていく。

【項目 体験学習の充実】

- ・ペア学年活動など、異年齢集団活動を充実させ、多くの友達とかかわり合いながら、主体的、意欲的に活動することができるようにする。交流の時間や場を適切に設定し、1年間継続して行うことができるようにしていく。（読書週間での読み聞かせ、ペアの音楽交流、休み時間の遊び、集会活動）